



《FC・VC 加盟店ランキング 2017》リフォーム部門、LIXIL が 2 部門制覇

リフォーム部門		
リフォームショップ500店超に		
	LIXILリフォームショップ	本部/LIXIL
	加盟店数 507	
	LIXILリフォームネットワーク	本部/LIXIL
	加盟店数 13,100	
	水まわり工房	本部/クリナップ
	加盟店数 4,300	

LIXILリフォームショップは500店を突破。同ショップは長期で人口10万人に対し1店の割合で出店することを目指しており、1000店規模への拡大を目指している。そのために、施主がローンを無金利で利用できるキャンペーンなども実施。平均単価や、契約率が向上する結果となった。また、LIXILリフォームネットワークは1万3100店と他を圧倒する加盟店数となっている。当初は8605店だったが発足2年で1万店を突破。専門性に優れた店舗を認定する「マイスター認定店」制度や研修制度などを展開。

一方、ネットワークではクリナップの水まわり工房が4000店を超え、4300店となった。発足、10周年を迎え、各地のショールームによるイベントなどの取り組みを行っている。

情報提供: リフォーム産業新聞

新たな既存住宅状況調査技術者講習の開催概要が決定



一般社団法人住宅瑕疵担保責任保険協会は3月24日、既存住宅のインスペクションに関する新たな講習の開催概要を発表した。同講習は国の規定による「**既存住宅状況調査技術者講習**」として登録されている。2018年4月施行予定の改正宅建業法では、インスペクションが法的に位置づけられている。今回の講習は法律の内容にそったものとなっている。

講習は、**移行講習と新規講習の2種類**。同協会の既存住宅現況検査技術者と長期優良住宅化リフォーム推進事業のためのインスペクター講習団体の講習を修了した者は、移行講習を受講する。それ以外の初めて講習を受ける受講者は、新規講習を受講する。

現在、約1万2000人超が既存住宅現況検査技術者として登録されているが、同協会では、受講対象となるすべての建築士に新たな既存住宅状況調査技術者への移行を促し、移行と新規を合わせ1万人以上の受講(修了者)を目指す。

移行講習は47都道府県で86回、新規講習は45都道府県で52回実施。まずは移行講習として5月9日より大都市からスタートする。新規講習は、5月30日スタート。申し込みは、3月24日より同協会のHPから行える。両講習とも地方都市に関しては、日程が決まり次第HP等で公表する。

情報提供: 住宅瑕疵担保保険協会

是々非々

「是々非々」政治家がよく使う言葉の代表格のような言葉。良いことは良い、悪いことは悪い、誰もが理解していることだ。ついその場の雰囲気や周りの人との関係性を優先して正しさを曲げてしまうのが人間。

冒頭の政治家が「この問題は是々非々の態度で臨む」などと言うが、実際は永田町の論理である「清濁併せ呑む」とか「落としどころ」を決めて結論を出す。この曖昧さがまかり通るこれは少数民族、いや単一民族で農耕民族が生きて行くうえでの知恵であったのかもしれない。

小さいところでは町内会やマンション管理組合、市議会、県議会そして国会、全てが曖昧な落としどころで結論を出す。

しかしこれからの時代は変わる。トランプ大統領就任で「曖昧」だとか「落としどころ」は全く通用しなくなる。彼は有能なビジネスマン、政治経験は全くない。だからビジネスライクに物事を判断し結論を出すだろう。「**勝つか負けるか」「儲かるか損するか**」曖昧では生き残れない。是々非々で臨め白か黒かだ!



情報提供: 特別情報誌

